



## 《安全管理》 MRSA感染率

### 項目解説

MRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）は、多くの抗菌薬に耐性を示す黄色ブドウ球菌で、難治性の感染症を引き起こす病原菌として知られています。正常な免疫機能を持っている人にはほとんど問題にはならない細菌ですが、免疫力の低下した重症者や高齢者、乳幼児などに感染すると大変危険な状況を引き起こします。

MRSA感染率の評価は、院内感染対策の代表的な指標の1つです。

### 当院の実績

	MRSA感染率平均	MRSA罹患率平均
平成25年度	5.76‰	4.05‰
平成26年度	6.87‰	3.71‰
平成27年度	2.42‰	1.57‰
平成28年度	2.72‰	2.24‰

(‰：パーミル=1/1000)

### 当院の自己点検評価

当院ではICT（感染制御チーム）が中心となって感染管理活動を展開しています。ICTは毎週院内の各部署へ出向き、手洗いや防護具の着脱状況を確認、指導を行うことで、アウトブレイク（通常レベル以上の感染症増加）の防止に努めています。

平成25年度からはJANIS（厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業）への参加による疫学的データや感染症情報の収集なども行い、積極的な活動を推進しています。

### 定義

厚生労働省「院内感染対策サーベイランス事業」還元データ

MRSA感染率：MRSA感染症発症患者の割合

MRSA罹患率：新規のMRSA感染症発症患者の割合

### 算式

感染率（‰）：(感染症患者数÷総入院患者数)×1,000

罹患率（‰）：[新規感染症患者数÷(総入院患者数-継続感染症患者数)]×1,000